

## 今日のトピック 自動車業界の2018年度業績は？ 2018年度連結営業利益は、トヨタは増益、ホンダと日産は減益

### 自動運転、電動化など次世代技術への投資を継続

- 自動車大手3社の2018年度の連結売上高はトヨタとホンダは増収、日産は減収となりました。連結営業利益はトヨタが増益、ホンダと日産は減益となりました。トヨタは、アジア向けの販売好調や原価低減効果などから増収増益となり、売上高は日本企業として初めて30兆円を上回りました。ホンダは二輪事業は好調だったものの、四輪事業の米国、中国市場での苦戦などから、増収減益となりました。
- トヨタ自動車は今期に設備投資と研究開発費の合計で過去最高の2兆5,500億円を投入する見通しの他、トヨタグループの主要8社も自動運転、電動化など将来に備えた投資を継続する方針です。
- トヨタグループの主要8社の2018年度連結決算は、アジア向けの販売好調などを背景に全社が増収となる一方、電動化など将来に備えた先行投資負担などから6社が営業減益となりました。

#### 【自動車大手3社の連結業績】

企業名	売上高 (億円)		営業利益 (億円)		19年度為替想定 (円) (円/米ドル)
	19年3月期	20年3月期見通し	19年3月期	20年3月期見通し	
トヨタ自動車	302,257 (+3)	300,000 (▲1)	24,675 (+3)	25,500 (+3)	110
ホンダ	158,886 (+3)	157,000 (▲1)	7,264 (▲13)	7,700 (+6)	110
日産自動車	115,742 (▲3)	113,000 (▲2)	3,182 (▲45)	2,300 (▲28)	110

#### 【トヨタグループ各社の連結業績】

企業名	売上高 (億円)		営業利益 (億円)		19年度為替想定 (円) (円/米ドル)
	19年3月期	20年3月期見通し	19年3月期	20年3月期見通し	
デンソー	53,628 (+5)	55,000 (+3)	3,162 (▲23)	3,800 (+20)	110
アイシン精機	40,431 (+3)	40,400 (▲0)	2,056 (▲19)	1,800 (▲12)	110
豊田自動織機	22,149 (+11)	23,000 (+4)	1,347 (▲9)	1,450 (+8)	110
豊田通商	67,627 (+4)	*	2,152 (+18)	2,370 (+10)	110
ジェイテクト	15,209 (+6)	15,300 (+1)	666 (▲18)	700 (+5)	110
トヨタ紡織	14,064 (+0)	13,900 (▲1)	581 (▲18)	530 (▲9)	110
豊田合成	8,407 (+4)	8,450 (+1)	365 (+4)	410 (+12)	110
愛知製鋼	2,573 (+9)	2,620 (+2)	111 (▲6)	100 (▲10)	111

(注1) カッコ内は前年同期比増減率、単位は%。トヨタ自動車は米国会計基準、ホンダ、デンソー、アイシン精機、豊田自動織機、豊田通商、豊田合成は国際会計基準。

(注2) (\*) 豊田通商は売上高見通しは未公表。

(注3) トヨタ自動車の主要グループ8社は日本経済新聞社の分類による。為替想定は19年度の円/米ドル想定レート。

(出所) 各社決算資料データなどを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

**ここも  
チェック!** 2019年4月22日 東京五輪に向け期待される『サービス用ロボット』  
2019年4月18日 『MaaS』で国内企業の資本・業務提携が相次ぐ

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。